

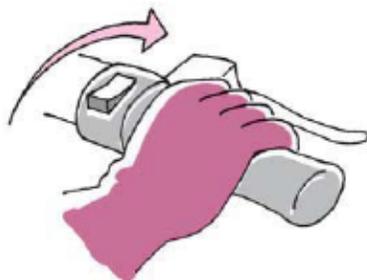
⑤ 上手な止まり方

走ることは容易ですが、一番大切なのは止まり方なのです。止まり方も、とっさに止まらなければならないとき、または予測して十分余裕をもって止まるときなどがあります。上手な止まり方は、エンジンブレーキと前・後輪ブレーキを使って止まることです。



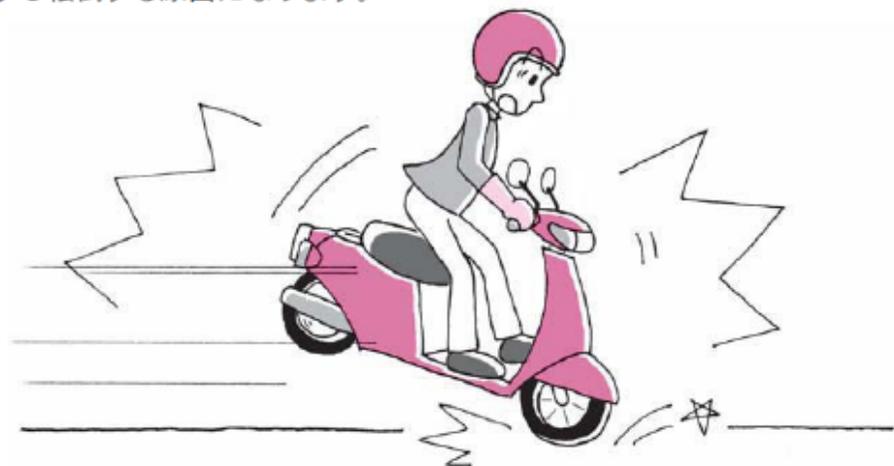
1 エンジンブレーキ

アクセルをもどすことによって減速することを、エンジンブレーキといいます。エンジンブレーキは、低速ギアになるほどブレーキ効果があります。



2 前輪ブレーキ (右手のレバー)

制動効果が大きいため、強くかけすぎると前輪タイヤがロックして、バランスをくずし転倒する原因になります。



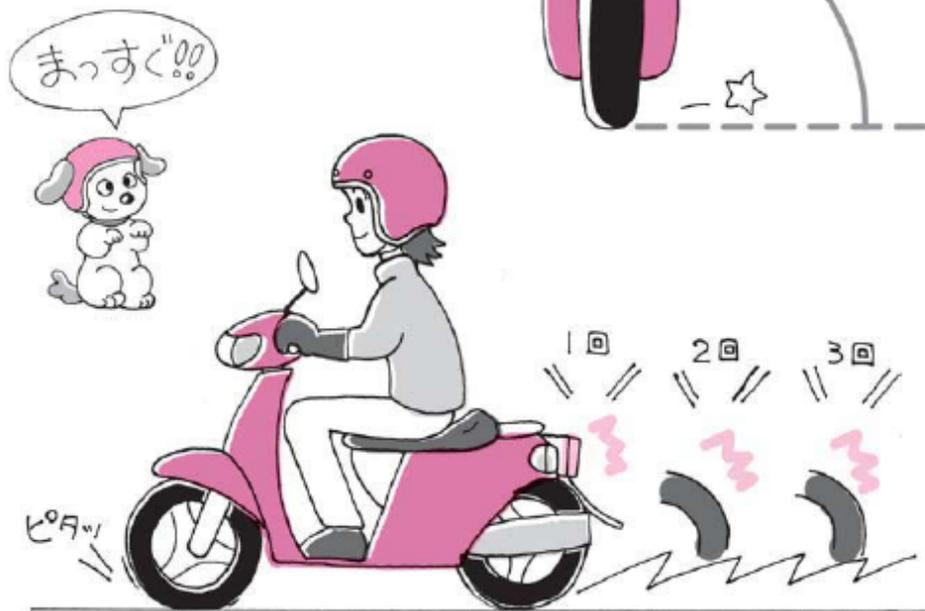
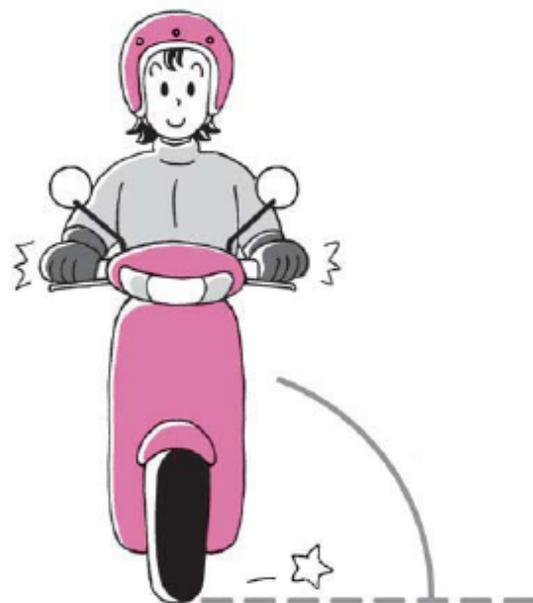
3 後輪ブレーキ (右足ペダルまたは左手のレバー)

右足ペダルはつま先でかけるのですが、強く踏みすぎるとバランスをくずすので、十分注意してください。左手のレバーの場合も強くかけすぎるとバランスをくずします。



4 ブレーキの上手なかけ方

ブレーキをかけるときは、車体がまっすぐの状態のときにかけます。かけ方は、エンジンブレーキ、前後輪のブレーキを同時にかけます。また、後続車に知らせるために、ブレーキは2～3回に分けてかけましょう。カーブの途中など車体が傾いているときにブレーキをかけると、バランスをくずしやすいのでカーブの手前で十分にスピードを落しましょう。



前、後輪ブレーキを同時にかける

●三つのブレーキの特徴を効果的に使いましょう

ブレーキの種類 状況		前輪 ブレーキ	後輪 ブレーキ	エンジンブレーキ	
				アクセル をもどす	シフトダウン (ギア付車)
急制動		◎	◎	◎	
高速時の減速		○	○	◎	◎
坂道発進		○	◎		
長い下り坂		○	○	◎	◎
低速時の制動		◎	◎	○	
停車中		○	◎		
すべりやすい 路面	砂利道	○	○	◎	◎
	雨の日の減速	△	△	◎	○
	雪の日の減速	▲	▲	◎	△

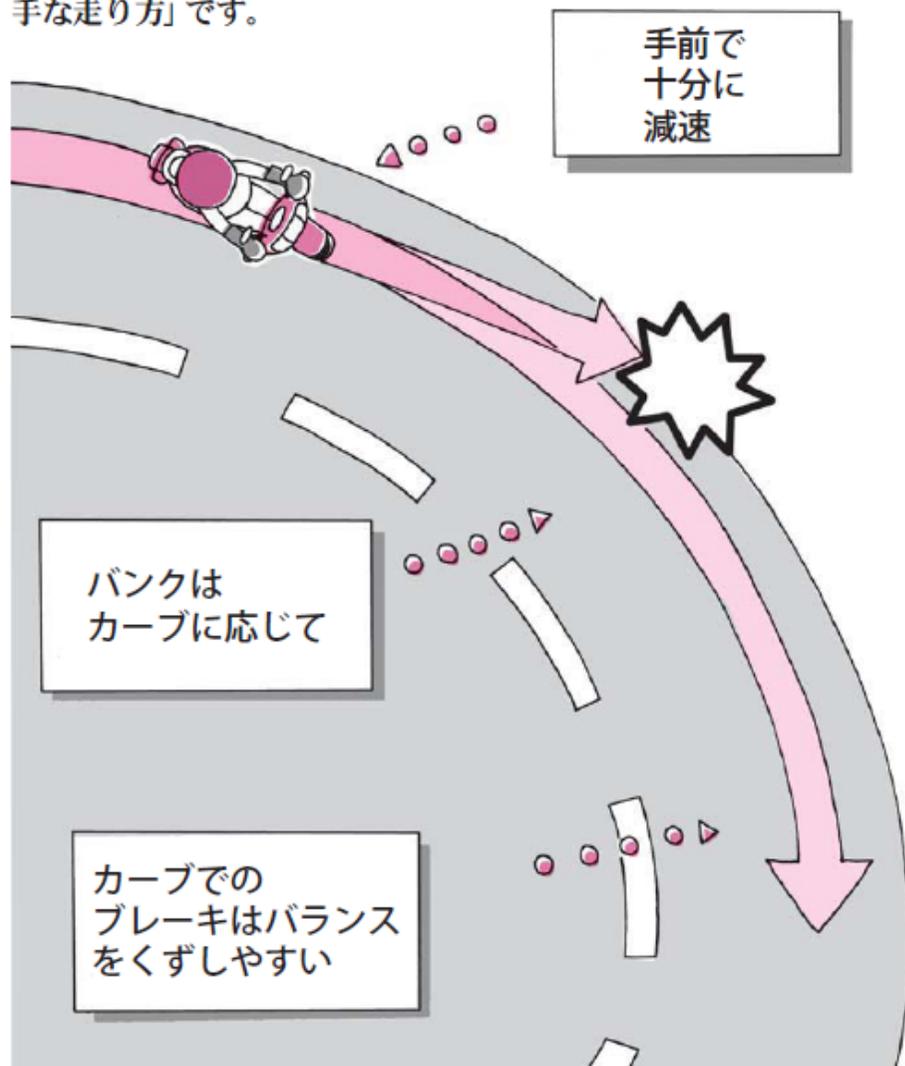
<記号> ◎…主体的に使う △…気をつけて使う
○…補助的に使う ▲…特に気をつけて使う

■ポイント

- いずれの場合においても、カーブの途中の減速、制動はバランスをくずしやすいので、カーブに入る前に減速を完了しましょう。

⑥ カーブの上手な走り方

カーブを走るときは、十分速度を落としましょう。カーブ走行では、遠心力の作用でバイクが外側に飛び出そうとする力が働きます。遠心力は高速になるほど、そしてカーブの半径が小さくなるほど大きく作用します。遠心力の作用で道路外に飛び出したりしないように、カーブの手前の直線部分で十分速度を落とすのが「カーブの上手な走り方」です。

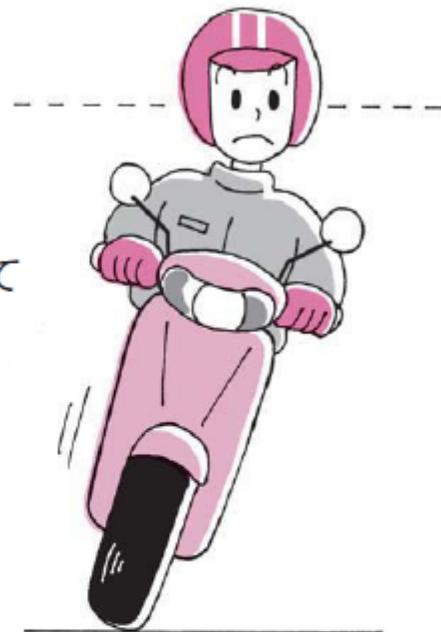


1 手前減速

カーブにさしかかる手前の直線部分で十分減速してください。

2 バンク角はカーブに応じて

カーブを走るとき、四輪車はハンドル操作で曲がりますが、バイクは、車体とからだを傾けながら曲がります。傾け方が大きすぎると、スリップして転倒するおそれがあります。カーブの走行時には体が傾いていますが、視線は水平にして、カーブの先を広く見ましょう。



3 カーブでのブレーキ

カーブの途中で、急ブレーキをかけると、スリップしてバランスをくずす場合があります。カーブ手前で十分に速度を落としましょう。